

リチウムリン酸鉄電池

レース車向け参入

コスモ・エナジー ラジコン技術活用

同社は軽量化を実現しつつ安全性を確保するため、充・放電の過程で酸素を単体で発生しないリチウムリン酸鉄電池を使ったバッテリーを開発。自動車レースチームなどに試作、供給した。

自動車レース、2輪車レースなどモータースポーツで使われる車両には、鉛電池のバッテリーが広く使われている。レース用車両はグラム単位の軽量化が求められるため、軽量なリチウムイオン電池などを使うのが理想だが、事故の際、誘爆する危険性があるため安全面から鉛電池を使う事例が多かった。

【南大阪】コスモ・エナジー（堺市堺区、澤田幸次郎社長、072・229・5111）は、レース車両用バッテリーの製造・販売事業に参入する。2011年3月までに2輪車用バッテリー3種類を開発し、4月以降に発売する。同社はラジコンなどに使われる玩具用バッテリーのメーカー。少子化で玩具市場が縮小する中、自社のノウハウを生かせる新たな事業としてレース車両用のバッテリーに着目、参入を決めた。

2輪車用バッテリー3種類、4輪車用バッテリー3種類の発売に続き、自動車用バッテリーの標準品や、電気自動車（EV）にも使える大容量モデルなども開発・発売する計画。設計・販売は、09年末に設立した子会社のウイングス（堺市堺区）が

中堅・中小・ベンチャー

日刊工業新聞 全国版
2010年8月11日 掲載記事

担当する。同社の売り上げで11年10月期に1億円を目指す。
コスモ・エナジーはラジコンやエアガン、釣り用品のバッテリーを製造・販売する。10年4月期の売り上げは約4億5000万円。